

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	国語	科目名	現代文A	単位数	2
対象学年組	2年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	『現代文A 改訂版』大修館書店				
使用教材	『漢字ボックス』浜島書店 『漢字反復ノート』浜島書店				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	随筆『きつと叶いますよ』 漢字の学習	α：筆者の生き方を読み取り、自分に引きつけ考察を深める。 β：筆者が理想とする生き方を読み取ることができる。 α：頻出漢字のうち、3割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、2割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	5
	5月	評論『ウサギの耳はなぜ長い?』 漢字の学習	α：論理の展開や要旨を的確に捉え、筆者の主張について自分の意見を持つことができる。 β：論地の展開や要旨を的確に捉え、自分の意見をもつことができる。 α：頻出漢字のうち、3割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、2割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	8
	6月	評論『和の思想、間の理解』 小説『ざしきわらし』	α：本文の要旨を理解し、文化理解を筆者の主張の観点から考えることができる。 β：本文の要旨を理解し、文化理解を考えることができる。 α：小説の構成を理解し、心情の動きの理解を深める。 β：小説を楽しめるように理解を深める。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	8
	7月	漢字の学習	α：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、3割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	3
2 学期	8月				
	9月	随想『幸せの分量』 漢字の学習	α：筆者が考える幸福を読み取り、現代社会について考えることができる。 β：筆者が考える現代における幸福を読み取ることができる。 α：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	7
	10月	評論『家族化するペット』 漢字の学習	α：論理の展開や要旨を的確に捉え、筆者の主張について自分の意見を持つことができる。 β：論地の展開や要旨を的確に捉えることができる。 α：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	8
	11月	詩歌を味わう 現代詩 漢字の学習	α：韻文に対する鑑賞力を高めまた基本的事項を理解する。 β：韻文鑑賞力を高めまた基本的事項を理解する。 α：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	8
	12月	詩歌を味わう 短歌 漢字の学習	α：短歌を鑑賞できるようにする。また基本的事項を理解する。 β：短歌を鑑賞できるようにする。また基本的事項を理解する。 α：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、4割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	6
3 学期	1月	小説『ころ』 漢字の学習	α：小説の構成や展開を理解し、当時の人間社会への理解を深め現代を考えるようにする。 β：小説の基礎を理解し、当時の人間社会等の理解ができる。 α：頻出漢字のうち、6割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	7
	2月	小説『ころ』 漢字の学習	α：小説の構成や展開を理解し、当時の人間社会への理解を深め現代を考えるようにする。 β：小説の基礎を理解し、当時の人間社会等の理解ができる。 α：頻出漢字のうち、6割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	7
	3月	漢字の学習	α：頻出漢字のうち、6割の読み書きができる。 β：頻出漢字のうち、5割の読み書きができる。	(1)授業態度 ①問いかけに対して積極的に適切な発言をしたか。 ②疑問点に対して適切な質問をしたか。 ③出席状況 ④その他の状況 (2)提出物(ノート、漢字ワーク) (3)定期考査と小テスト	3

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	地理歴史科	科目名	日本史 A	単位数	2
対象学年組	2年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	第一学習社 高等学校 改訂版 日本史 A				
使用教材	なし				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	1. 「前近代」の日本史についての概略	1 (1) 古代から江戸時代中期までの、日本史の「前近代」について概略を整理し、理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	6
	5 月	2. 「黒船来航」による開国から江戸幕府崩壊まで	2 (1) 近代の入口と見なされる、開国から幕末動乱、江戸幕府崩壊までの過程を整理し、明治新政府成立前の日本の状況を理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	8
	6 月	3. 維新から明治前期の諸改革・文明開化まで	3 (1) 明治政府の成立、版籍奉還と廃藩置県、富国強兵を目指す諸政策(徴兵制・殖産興業)などを取り上げ、その意味と後々への影響等を整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	8
	7 月	4. 明治前期の対外関係	4 (1) 明治前期(ほぼ明治10年ころまで)の外交を整理する。欧米との条約改正に向けての努力(岩倉使節団)、近隣諸国との軋轢の始まり(琉球処分・江華島事件)を理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	4
2 学期	8 月				
	9 月	5. 明治中・後期の日本と世界	5 (1) 明治中・後期(ほぼ明治20年代以後)の内外の動きを取り上げ、自由民権運動が衰え、日清・日露戦争から韓国併合へ到る過程を整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	8
	10 月	6. 大正時代の日本と世界	6 (1) 第一次世界大戦前後の日本と世界の動きをたどり、戦勝国として国際的地位を高めた日本の問題点を整理・理解する。そして、その問題点がやがて軋轢を生む背景となることも整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	6
	11 月	7. 昭和前期の日本と世界	7 (1) 昭和初期の恐慌と不安定な政党政治が、やがて軍国主義拡大を生む背景となったことを取り上げ、日本の国際的孤立・大陸侵略の泥沼化へ続いたことを整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	8
	12 月	8. 日中戦争から太平洋戦争への道	8 (1) 日中戦争の泥沼化から、日米対立の深刻化・日米開戦に到る過程を、第二次世界大戦全般の中で整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	4
3 学期	1 月	9. 太平洋戦争(第二次世界大戦)の過程と敗戦	9 (1) 大戦中の重要な事実(民間人への双方からの加害行為)にふれつつ、日本の敗戦に到った過程を整理・理解し、戦後～現代に続く諸課題を整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	8
	2 月	10. 敗戦後の日本と世界	10 (1) 敗戦後の民主化、冷戦構造のもとでの「安保」体制成立、高度経済成長などを取り上げ、日本の再生とそこで生じた問題点を整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 等	8
	3 月	11. 現代の日本と世界	11 (1) 冷戦構造の崩壊後に生じた新たな「現代」の中で、日本やその国民が直面している諸課題を整理・理解する。	学習に臨む準備、態度、意欲 提出物の提出状況 定期考査の結果 等	2

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	3
対象学年組	2年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	高校数学Ⅱ 新訂版 実教出版				
使用教材	高校数学Ⅱ サブノート 実教出版				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	三角関数 ・一般角 ・三角関数 ・三角関数の相互関係	・ 360° より大きい角や負の角について理解する。 ・一般角 θ について、 θ の三角関数 $\sin\theta$ 、 $\cos\theta$ 、 $\tan\theta$ の値を求められるようにする。 ・一般角 θ について、三角関数の相互関係を理解し、活用する。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	7
	5月	・三角関数のグラフ ・加法定理 ・加法定理の応用 ・弧度法	・三角関数のグラフをかけるようにする。 ・加法定理を理解する。 ・加法定理を用いて、いろいろな公式を導く。 ・度数法とは別の、角の表し方を理解する。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	12
	6月	指数関数 ・指数の拡張 ・累乗根 ・指数関数のグラフ	・0や負の整数、分数の指数について理解する。 ・累乗根・累乗根の性質について理解する。 ・指数関数のグラフをかけるようにする。また、指数の大小から数の大小を調べる。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	12
	7月	・指数関数の応用	・指数方程式を解く。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	6
2 学期	8月				
	9月	対数関数 ・対数 ・対数の性質 ・対数関数のグラフ	・対数の意味を理解し、対数の値を求める。 ・対数の性質を利用して、対数の値を求める。 ・対数関数のグラフをかけるようにする。また、対数の値の大小を調べる。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	12
	10月	・常用対数 ・底の変換公式 微分と積分 微分係数と導関数 ・平均変化率 ・微分係数	・10を底とする対数を理解する。 ・底の変換公式を理解し、活用する。 ・平均変化率の意味を理解する。 ・微分係数の意味を理解し、その値を求める。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	12
	11月	・導関数 ・接線 導関数の応用 ・関数の増加・減少	・導関数の意味を理解し、いろいろな関数の導関数を求める。 ・微分係数と接線の傾きについて理解する。 ・導関数を利用して、関数の増加・減少のようすを調べる。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	8
	12月	・関数の極大・極小	・関数の極大・極小について理解し、関数の極値を求め、増減表をつかってグラフをかけるようにする。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	9
3 学期	1月	・関数の最大・最小 積分の考え ・不定積分 ・定積分	・増減表を利用して、関数の最大値・最小値を求める。 ・不定積分の意味とその計算方法を理解する。 ・定積分の意味とその計算方法を理解する。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	9
	2月	・面積 ・いろいろな図形の面積	・定積分と図形の面積の関係を理解する。 ・定積分を用いて、放物線や直線で囲まれた図形の面積を求める。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	12
	3月	・いろいろな図形の面積	・定積分を用いて、放物線や直線で囲まれた図形の面積を求める。	①各単元・項目の基礎的な知識と技能の習熟ができているか。 ②事象を数学的に考察し処理する能力が身につけているか。 ③調査・提出物・授業態度・問題演習や課題プリント等の結果により評価する。	6

授業時数合計

105

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	数学科	科目名	数学 A	単位数	2
対象学年組	2年		大学進学コース		
使用教科書	新編 数学 A 第一学習社				
使用教材	スタディ数学 A 第一学習社				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	1章 場合の数 1節 数え上げの原則 (1) 集合 (2) 集合の要素の個数	<ul style="list-style-type: none"> 集合を2通りの表し方で表現することができる。 $n(A)$ が集合Aの要素の個数を表すことを理解し、その値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	5
	5 月	(3) 数え上げの原則 2節 順列・組合せ (1) 順列 (2) いろいろな順列 (3) 組合せ (4) 組合せの利用	<ul style="list-style-type: none"> 樹形図を用いて、ことがらの場合の数を求めることができる。 和の法則、積の法則を用いて、ことがらの場合の数を求めることができる。 n個のものから r個とった順列 nPr の意味を理解し、その値を求めることができる。 nPr や $!$ (階乗)を用いて、ことがらの場合の数を求めることができる。 n個のものから r個とった組合せ nCr の意味を理解し、その値を求めることができる。 nCr を用いて、ことがらの場合の数を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	8
	6 月	2章 確率 1節 確率の基本的性質といろいろな確率 (1) 事象と確率 (2) 確率の基本的性質 (3) 余事象の確率 (4) 独立な試行の確率 (5) 反復試行の確率 (6) 条件付き確率	<ul style="list-style-type: none"> 順列や組合せを用いて、ある事象が起こる確率を求めることができる。 確率の基本的性質を理解し、和事象や余事象の考え方を用いて、確率を求めることができる。 独立な試行の確率、反復試行の確率、条件付き確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	8
	7 月	3章 整数の性質 1節 倍数と約数 (1) 倍数・約数 (2) 倍数の判定 (3) 素因数分解	<ul style="list-style-type: none"> 各数の倍数の判定法を理解し、ある数がどの数の倍数であるか答えることができる。 約数の意味についての理解を深める。 素因数分解を利用して、整数の正の約数を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	4
2 学期	8 月				
	9 月	(4) 最大公約数・最小公倍数 2節 ユークリッドの互除法 (1) ユークリッドの互除法	<ul style="list-style-type: none"> 素因数分解を用いて、2つの数の最大公約数と最小公倍数を求めることができる。 ユークリッドの互除法を用いて、2つの数の最大公約数を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	8
	10 月	(2) 2元1次不定方程式	<ul style="list-style-type: none"> 不定方程式の整数解を求めることができる。 ユークリッドの互除法を用いて、不定方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	8
	11 月	3節 整数の性質の利用 (1) 分数と小数 (2) 記数法	<ul style="list-style-type: none"> 10進法で表されている数を n進法で表す、またその逆を求めることができる。 n進法で表された数の和、差、積を計算することができる。 既約分数について理解する。 ある分数が有限小数になるか循環小数になるかを答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	8
	12 月	4章 図形の性質 1節 三角形の性質 (1) 三角形と比	<ul style="list-style-type: none"> 内分と外分について理解し、ある線分を $m:n$ に内分および外分する点を図示することができる。 内角と外角の二等分線がつくる比の性質を利用し、辺の長さを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	5
3 学期	1 月	(2) 三角形の外心 (3) 三角形の内心 (4) 三角形の重心	<ul style="list-style-type: none"> 外心、内心、重心の性質を理解し、辺の長さや角の大きさを求めることができる。 メネラウスの定理やチェバの定理を用いて、辺の長さを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	4
	2 月	2節 円の性質 (1) 円周角の定理 (2) 円に内接する四角形 (3) 円と接線 (4) 円の接線と弦の作る角 (5) 方べきの定理 (6) 2つの円 3節 作図 (1) 作図	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理と円に内接する図形の性質を利用し、角の大きさを求めることができる。 円とその接線についての関係を理解し、辺の長さや角の大きさを求めることができる。 定規とコンパスを用いて、三角形の重心や平行線などの基本的な作図を行うことができる。 与えられた2つの数の積および商を作図で求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	8
	3 月	4節 空間図形 (1) 空間における直線・平面の位置関係 (2) 多面体	<ul style="list-style-type: none"> 2直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解することができる。 三垂線の定理を理解し、それを図形の証明に利用することができる。 正多面体、オイラーの多面体定理について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> *各単元・項目の基礎的な知識と技能が身に付いている。 *事象を数学的に考察し処理する能力が身に付いている。 *演習や課題プリントの結果も評価に加える。 	4

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2
対象学年組	2学年		大学進学コース		
使用教科書	実教出版 高校生物基礎				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	4章生物の多様性と生態系 1節植生と遷移 1植物の生活と環境 2植生とその構造 3遷移と極相	・植物の生活と環境との間にどのような関わりがあるか把握させる。 ・光合成速度が光の強さや温度などの外部環境の影響を受けていることを理解する。 ・植物の水の吸収や水の上昇の仕組み、蒸散などを環境と関連させて理解する。 ・植生とその構造については、森林を中心に扱い、階層構造について理解する。 ・遷移については、光や水、土壌との関係を踏まえ、植生が移り変わっていくことを理解する。	観点 問いかけに対して積極的な態度や発言を行った。 生徒間での対話の中で課題について問題を解決することにつなげられた。 ノートやプリントのなどは適切に記載しているか。 方法 提出物と考査により評価する	10
	5 月	2節気候とバイオーム 1バイオームの分布 3節生態系と物質循環 1生態系 2エネルギーの流れと物質循環 3生態系のバランス 4節生態系のバランスと保全 人間生活と生態系	・気温と降水量の違いによって、地球上には様々なバイオームが成り立つことを理解する。 ・日本のバイオームについては、気温の違いによって成り立っていることを理解する。 ・自然の見方としての生態系の概念、食物網やそれを通しての物質循環やエネルギーの流れを理解する。 ・生態系バランスは常に変動していること、またその変動の幅は一定であることを理解する。 ・生態系の保全の意義を把握させる。		8
	6 月	1章生物の特徴 1節生物の共通性と多様性 1いろいろな生物 2生物の共通性の由来 3細胞の特徴	以下、1学年で学んだ内容を問題演習をしながら内容を深めていく。また実験・観察を通して生命現象について学びを深めていく。		6
	7 月	2節細胞とエネルギー 1代謝とエネルギー 2酵素			8
2 学期	8 月				
	9 月	3呼吸 4光合成 5ミトコンドリアと葉緑体の起源			6
	10 月	2章遺伝子とその働き 1節遺伝子とDNA 1ゲノムと遺伝子 2DNA研究の歴史 3DNAの構造			6
	11 月	2節遺伝情報の分配 1細胞分裂とDNA 3節遺伝情報とタンパク質の合成 1遺伝子とタンパク質			6
	12 月	2タンパク質の合成 3遺伝子の発現 3章生物の体内環境とその維持 1節体内環境 1体液と体内環境			6
3 学期	1 月	2恒常性にかかわるしくみ 2節体内環境の維持のしくみ 1自律神経による調節 2ホルモンによる調節 3自律神経系とホルモンによる調節			6
	2 月	3節免疫 1生体防御 2免疫のしくみ 2節体内環境の維持のしくみ 1自律神経による調節 2ホルモンによる調節 3自律神経系とホルモンによる調節			6
	3 月	3節免疫 1生体防御 2免疫のしくみ			2

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	理科	科目名	物理基礎	単位数	2
対象学年組	2年		大学進学コース		
使用教科書	数研出版 改訂版 新編 物理基礎				
使用教材	プリントなど				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線上に伝わる場合を中心に理解すること。	・波は媒質の振動が伝わる現象であることを理解する。 ・進行する波のグラフより、波の波長、振幅、振動数、周期、速度を計算などにより求めることができる。	プリントなどによる、問題演習	5
	5月	イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線上に伝わる場合を中心に理解すること。	・縦波、横波の違いを理解でき、縦波を横波的に表すことができるようにする。 ・波の独立性を理解でき、合成波の作図ができる。	プリントなどによる、問題演習	7
	6月	(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。	・進行波、定常波の区別がつき、定常波の作図ができる。 ・音の三要素を知り、それが波の何に関係するか理解する。	プリントなどによる、問題演習	8
	7月	(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。	・弦や管の振動を知り、共鳴共振現象を理解する。	プリントなどによる、問題演習	6
2 学期	8月				
	9月	ウ 電気 (ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。	・導体、不導体の違いを理解し、物体の種類、形状と抵抗値を計算できるようにする。 ・電流が自由電子の運動によるものであることを理解する	プリントなどによる、問題演習	8
	10月	(イ) 電気の利用 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。	・電磁誘導の基本的な性質を知る。 ・変圧器の原理を知る。 ・電磁波の性質を知る。	プリントなどによる、問題演習	7
	11月	エ エネルギーとその利用 (ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。	・電気エネルギーを得る方法を知る。	プリントなどによる、問題演習	6
	12月	エ エネルギーとその利用 (ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。	・放射線、放射能、放射性物質について違いを理解し、放射線量の単位を知る。	プリントなどによる、問題演習	4
3 学期	1月	オ 物理学が拓く世界 (ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。	・物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていること、たとえばMRI、GPSなどについて知る。	プリントなどによる、問題演習	6
	2月	オ 物理学が拓く世界 (ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。	・物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていること、たとえばMRI、GPSなどについて知る。	プリントなどによる、問題演習	7
	3月	オ 物理学が拓く世界 (ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。	・物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていること、たとえばMRI、GPSなどについて知る。	プリントなどによる、問題演習	6

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	理科	科目名	物理基礎	単位数	2
対象学年組	2年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	数研出版 改訂版 新編 物理基礎				
使用教材	プリントなど				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	(1) 物体の運動とエネルギー ア 運動の表し方 (ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 基本単位のMKSAについて理解する。 10のn乗を表すk(キロ)やm(ミリ)などを理解し、使用できる。 数値の表し方で、$A \times 10^n$のn乗の表し方を使用でき、有効数字を理解する。 	プリントなどによる、問題演習	5
	5月	(イ) 運動の表し方 物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 速さの定義を理解する。 グラフを用いて、平均の速度、瞬間の速度の違いを理解する。 直線上の相対速度を、合成速度について知る。 	プリントなどによる、問題演習	7
	6月	(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 加速度の定義を理解する。 v-tグラフから加速度の大小、正負を知る。 	プリントなどによる、問題演習	8
	7月	イ 様々な力とその働き (ア) 様々な力 物体に働く力のつり合いを理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 接触力と遠隔力の区別がつく。 	プリントなどによる、問題演習	6
2 学期	8月				
	9月	イ 様々な力とその働き (ア) 様々な力 物体に働く力のつり合いを理解すること	<ul style="list-style-type: none"> 諸々の力について、図を用いて表現できる。 重力、弾性力の大きさの計算ができる。 	プリントなどによる、問題演習	8
	10月	(イ) 力のつり合い 物体に様々な力が働くことを理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 力の合成、分解が作図でき、合力や成分を計算できる。 力が釣り合っている場合、合力が0になることが理解できる。 	プリントなどによる、問題演習	7
	11月	(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 作用反作用の法則を理解できる。 慣性の法則で説明できる現象を、日常生活から挙げることができる。 物体の加速度と力の大きさ、質量の関係を理解でき、計算できる。 	プリントなどによる、問題演習	6
	12月	(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 自由落下とはどのような現象か、説明でき理解できる。 すべての落下運動は、初速度の向きに「等速直線運動」→鉛直下向きに「自由落下」であることを知る。 	プリントなどによる、問題演習	4
3 学期	1月	ウ 力学的エネルギー (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。 (イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 力学的な仕事を理解し、仕事の大きさを計算できる。 仕事率の定義を理解し、計算できる。 エネルギーと仕事の関係を知り、各エネルギーを公式を用い計算できる。 力学的エネルギーは位置+運動であることを知る。 力学的エネルギー保存に関する計算ができる。 	プリントなどによる、問題演習	6
	2月	ア 熱 (ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 摂氏と絶対温度の関係を知り、物質の三態が温度によることを理解する。 	プリントなどによる、問題演習	7
	3月	(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 熱量保存の法則を知り、比熱、熱容量、潜熱について理解する。 熱の現象は不可逆現象であることを知り、熱エネルギーについて理解する 	プリントなどによる、問題演習	6

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象学年組	2年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	最新高等 保健体育				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	オリエンテーション 体づくり運動 体力測定の実習 握力 長座体前屈 上体起こし 反復横とび 立ち幅跳び 短距離走 持久走 ハンドボール投げ	体育の授業を安全に行うために注意することを理解する。体育の単位習得に必要なことを理解する。体の状態に応じて運動することができる。 体力を高めるために運動することができる。 握力 長座体前屈 上体起こし 反復横とび 立ち幅跳び 持久走 ハンドボール投げ 50m走の計測記録向上のための練習と、各種目の記録を正確に計測することができる。	話を聞く態度 取り組む姿勢 測定態度 測定記録	8
	5月	サッカー マット運動	種目特性の理解と基本的な技能 回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができる。 回転系の基本的な技を構成し演技することができる。	種目特性、ルールを理解 ボールコントロール技能 正しいフォームで安全に動いているか	6
	6月	サッカー マット運動 水泳	個人的技能および集団的スキル 回転系の基本的な技を構成し演技することができる。 背泳ぎ、平泳ぎ、クロールを、手と足・呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳ぐことができる。	ボールコントロール技能 正しいフォームで安全に動いているか 確認する。 フォームと記録	7
	7月	水泳	背泳ぎ、平泳ぎ、クロールを、手と足・呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳ぐことができる。	フォームと記録	5
2 学期	8月				
	9月	水泳 サッカー バレーボール	背泳ぎ、平泳ぎ、クロールを、手と足・呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳ぐことができる。 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって、少人数で攻防を展開することができる。 バレーボールの基本的なボール操作ができる。	フォームと記録 ボールコントロール、状況に応じたプレーの選択 正しい動きとボールの扱いを指導する	8
	10月	サッカー バレーボール	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって、少人数で攻防を展開することができる。 バレーボールの基本的なボール操作ができる。状況に応じたボール操作により、相手コートに空間を作ることができる。	ボールコントロール、状況に応じたプレーの選択 正しい動きとボールの扱いを指導する	5
	11月	サッカー バレーボール	ルールを理解して、サッカーのゲームを行うことができる。 ルールを理解してバレーボールのゲームを行うことができる。	ボールコントロール、状況に応じたプレーの選択 正しい動きとボールの扱いを指導する	6
	12月	サッカー バレーボール 陸上競技 持久走	ルールを理解して、サッカーのゲームを行うことができる。 ルールを理解してバレーボールのゲームを行うことができる。 ペースに応じて一定の時間を走ることができる。	ボールコントロール、状況に応じたプレーの選択 正しい動きとボールの扱いを指導する 取り組む態度 記録	8
	1月	陸上競技 持久走	ペースに応じて一定の時間を走ることができる。	取り組む態度 記録	5
3 学期	2月	陸上競技 持久走	ペースに応じて一定の時間を走ることができる。 長い距離を走ることができる。	取り組む態度 記録	6
	3月	体育理論 運動・スポーツの学び方	運動の効果的な行い方について理解する 体カトレーニングの基礎理論を理解する トレーニングの基本原則・原則を理解する 筋力・持久力・調整力・柔軟性のトレーニング方法を学習する スポーツにおける危険な事故について学びそれを回避するための能力を身につける	態度 プリント学習	6

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1
対象学年組	2年		A組・B組・C組・D組・E組		
使用教科書	最新高等 保健体育				
使用教材					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	思春期と健康	思春期における体の変化について説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	3
	5月	性への関心・欲求と性行動	性意識の男女差を、具体例をあげて説明できる。性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	4
		妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	
	6月	避妊法と人工妊娠中絶	家族生活の意義と適切な避妊法について説明できる。人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	4
		結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	
7月	中高年期と健康	年をとることに伴う心身の変化にはどのようなものがあるか説明できる。中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	2	
2 学期	8月				
	9月	医薬品とその活用	医薬品の正しい使用法について説明できる。医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	4
		医療サービスとその活用	さまざまな医療機関の役割について説明できる。医療サービスを受けるときの留意点をあげることができる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	
	10月	保健サービスとその活用	保健行政の役割について例をあげて説明できる。保健サービスの活用の例をあげることができる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	4
		さまざまな保健活動や対策	民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例をあげて説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	
	11月	大気汚染と健康	大気汚染の原因とその健康影響を説明できる。地球規模の環境問題について、例をあげて説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	4
		水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁の原因とその健康影響を説明できる。土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	
12月	環境汚染を防ぐ取り組み	今日の環境汚染の特徴について説明できる。環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて例をあげて説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	2	
3 学期	1月	ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状やその課題について説明できる。安全で質のよい水を確保するためのしくみと課題を説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	3
	2月	食品の安全を守る活動	行政や生産・製造者 による食品の安全のための対策について、例をあげて説明できる。食品の安全のため、私たち消費者が行うべきことを例をあげて説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	3
		働くことと健康	働く人の健康問題が、どのように変化してきたかを説明できる。労働災害の防ぎ方について説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	
3月	働く人の健康づくり	職場が行う健康増進対策について例をあげて説明できる。余暇の大切さと活用の仕方について説明できる。	話を聞く態度と内容の理解、ノートへの記入。	2	

授業時数合計

35

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語 I	単位数	2
対象学年組	2年 A組・B組・C組・D組・E組				
使用教科書	VISTA English Communication I				
使用教材	チャンクで英単語 Basic、チャンクで英単語Basic ドリルノート1、Zoom入門ノート				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4月	Lesson 7 Machu Picchu Talk with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。 基本単語を覚える。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。	5
	5月	Lesson 7 Machu Picchu インタビューテスト Talk with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。 基本単語を覚える。 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	7
	6月	Lesson 8 Motala and Landmines Talk with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。 基本単語を覚える。 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	8
	7月	Lesson 8 Motala and Landmines Talk with ALT	英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要なもの 基本的な文化的背景について理解する。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 映像も活用する。の理解 確認問題を行う。	5
2 学期	8月				
	9月	Lesson 9 Dick Bruna Talk with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 教科書の文章の単語を発音に気をつけて、聞き手に伝わるように音読する。 基本単語を覚える。 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	8
	10月	Lesson 9 Dick Bruna Talk with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。 基本単語を覚える。 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。 日本の伝統文化を理解し英語で表現する。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	9
	11月	Lesson 10 Tsujii, the Great Pianist Talk with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ったり、聞きなおしたりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。 基本単語を覚える。 挨拶や身近な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身につける。 日本の伝統文化を理解し英語で表現する。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	8
	12月	Lesson 10 Tsujii, the Great Pianist 日常的な場面における生きた英語会話の学習	英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要なもの 基本的な文化的背景について理解する。	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	4
3 学期	1月	Lesson 11 Ideas from Nature Talk with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 基本単語を覚える。 一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。 特に、環境問題について英語を通じて理解を深める。 一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	6
	2月	Lesson 11 Ideas from Nature Talk with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 基本単語を覚える。 一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。 特に、環境問題について英語を通じて理解を深める。 一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	6
	3月	Lesson 12 Steve Jobs 発表	<ul style="list-style-type: none"> 一定のテーマに沿って、又は特定の場面で自分の考えた内容を英文で発表したり、必要な会話ができる。 	①関心・意欲・態度 毎時、指名発言にて回答を確認する。 ②表現の能力 単元に1回は音読をさせる。 ④知識・理解 毎週、単語テストを行う。 ③理解の能力 単元の文法（基本時制）の理解の確認問題を行う。	4

授業時数合計

70

令和2年度 年間授業計画

東京都立杉並工業高等学校

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2
対象学年組	2年		大学進学コース		
使用教科書	VISTA English Communication Ⅱ (東京書籍)				
使用教材	チャンクで英単語 Standard (三省堂)、やさしくわかりやすい英文法 (文英堂)				

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	4 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	5
	5 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	7
	6 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	8
	7 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	5
2 学期	8 月				
	9 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	8
	1 0 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	9
	1 1 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	8
	1 2 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	4
3 学期	1 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	6
	2 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	6
	3 月	英文の暗唱 (文法の理解) 会話やスピーチの練習 英検の過去問題 異文化理解 (時事問題クイズや 洋楽でのリスニング) 読解 (VISTAや投げ込み教材を 使用)	短文を暗唱させる 短文を暗唱させるとともに、コミュニケーション能力の伸長 文法の理解 英語への動機付けの喚起と維持 精読による読解力の養成	授業態度 宿題の提出 小テストや机間巡視で理解度を 測る	4

授業時数合計

70